常陸太田市　地域おこし協力隊広報誌

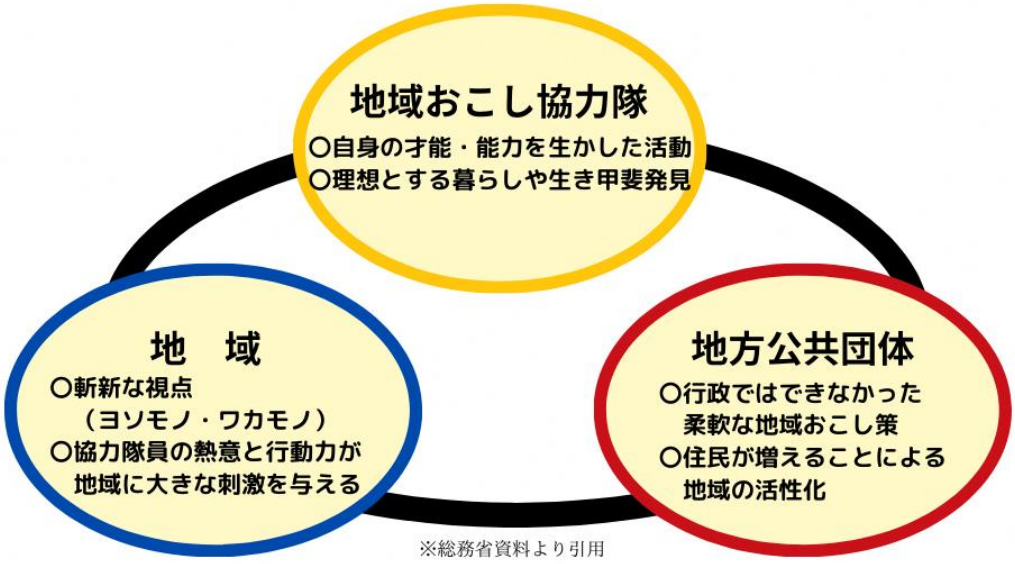
おかげさま

令和4年度
地域おこし協力隊
活動レポート

常陸太田市 企画部 少子化・人口減少対策課
常陸太田市 地域おこし協力隊

地域おこし協力隊とは？

地域おこし協力隊とは、都市地域から過疎地域等の条件不利地域に住民票を異動し生活の拠点を移した者を地方公共団体が「地域おこし協力隊」として委嘱します。



※総務省資料より引用

隊員は、おおむね1年以上、最長3年間、地域に居住して、地域おこし活動の支援や農林漁業の応援、住民の生活支援など「地域協力活動」に従事し、地域の活性化につなげるものです。

常陸太田市内で活動中！

常陸太田市では、平成23年度から地域おこし協力隊員を受入れ、地域の方と連携を図りながら、各々のミッションを通じて、地域の活性化を目指す取組みを進めています。

現在では、3名の隊員が様々なミッションに取組んでいます。最新の活動については、SNS等で情報発信を行っています。各QRコードからぜひご覧ください。

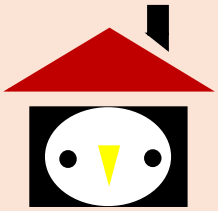
http://
常陸太田市
地域おこし協力隊
ホームページ

facebook

協力隊紹介

協力隊に聞いてみました！

はしもと　ひろき
橋本　大輝
移住定住PR
空き家バンク支援



常陸太田市のお気に入りのお店は？

「楽生流（ラウル）」
陽気な雰囲気で料理も絶品！

あなたにとって常陸太田市はどんなところですか？

人の温かさを感じられる実家のような場所

あなたが感じる常陸太田市の魅力は？

自然と町のバランスがちょうどいいところ

たわらや　こうき
俵谷　昂樹
農業の担い手
なし栽培

常陸太田市のお気に入りのお店は？

「白ひげ」
濃厚な豚骨スープで食べ応え抜群です！

あなたにとって常陸太田市はどんなところですか？

ゆったり暮らせて温かさにあふれたまち

常陸太田市を一言で表すと？

ふるさとよりもふるさと

むとう　はるか
武藤　春香
農業の担い手
なし栽培

常陸太田市のお気に入りのお店は？

「福都」
ボリュームもあっておいしいです！

あなたにとって常陸太田市はどんなところですか？

楽しい思い出がたくさんあるところ

常陸太田市の好きなスポットは？

幸久橋の歩道橋、リフレッシュに最適です

No.1 **橋本 大輝**　移住定住ＰＲ　空き家バンク支援

私と元協力隊である妻とパーソナリティを務めているラジオ番組「みんようの時間」も当初は大子町の放送局のみでしたが、現在は日立市、高萩市の放送局からも放送できるようになり、再放送を含めると週に5回放送しています。インターネットラジオを通じて県外へも、常陸太田市での暮らしやイベントの様子を伝えています。

ご縁があり鯨が丘の旧店舗を活動拠点として管理しはじめ、町の皆さんのお力を借りながら活動を展開しています。

2年目を終えて

常陸太田市地域おこし協力隊の活動も2年がすぎました。協力隊になった当初は地域を知ることも大変でしたが、当時の社会情勢の影響でやりたいことがなかなか出来なかったりと前半の活動はハッキリ言っていい感じではなかったと思います。その中でも地道に自分の特技である三味線や民謡のスキルを活かして市内各所で演奏を行い、演奏中にも空き家関係のトークや、チラシを配り、空き家バンク登録促進活動を行いながら市民との交流を深めてきました。

鯨が丘の拠点「コネークット」
12月倉イベント時のようす。三味線演奏会や出展の会場として一般開放。
多くのお客様におこしいただきました。
地域のみなさまの支えもあり、3月に無事にオープンする事ができました。

3年目を迎えて

様々なことがしやすくなり、明るい兆しを感じています。管理している鯨が丘の拠点は「コネークット」と名付けました。つながるを意味する「コネクト」と、茨城弁「こねぇ？」「くっとぉ～」が名前の由来です。

拠点は少しずつ一般開放しています。定期的にいろんなイベントを開催し、展示会や集いの場として皆さんにご活用頂けたらいいなと思います。卒業までのカウントダウンも始まりましたが、様々なことにチャレンジし、試行錯誤していきます！

市から依頼を受けて作詞、作曲を手がけた「長生き上手音頭」の作成風景。
今年1月にフレイル予防のイベントで楽曲の演奏披露が行われました。
その模様は翌日のNHKテレビニュースや、茨城新聞の記事にも取り上げられて好評でした。

No.2 **俵谷 昂樹**　農業の担い手　なし栽培

2年目を終えて

常陸太田で梨農家を目指して地域おこし協力隊に着任してから2年が経ちました。

2年目も引き続き「庄ちゃん梨園」や、協力隊OBの堀口さんが経営されている「果樹園せいよう」で研修をさせてもらっています。

今年はさらに専門的な研修内容となり、専用の機械に乗って草刈りをしたり、春から夏にかけて伸びる枝葉の細かな管理など、たくさんの作業経験を経て、梨農家としての知識と技術が1年目と比べて格段に身につきました。

梨農家としてだけでなく、農業という仕事の楽しさと厳しさ、農業への向き合い方のほか、社会人としてどう考えて生きるかなど人として大事な事も多くご指導いただき人間的にも成長した1年でした。

3月は開花シーズンに向けて剪定作業を進めています。剪定は特に複雑で経験を重ねないとうまくできない作業ですが、受け入れ農家さんからの熱心なご指導のおかげで、昨年より上手にできるようになりました。剪定作業も1日の段取りが組めるように敢えて別々に進めていた時もあり、少しずつ予定を組んで時間通りに作業が出来るようになりました。

まだまだ未熟なところも多いので、自分の成長と課題を意識しながら活動しています。

不要な枝をチェンソーでカット！
いい梨ができるかを左右する大事な作業。常に真剣勝負です。

剪定した枝を棚に結ぶ作業。
上を向いて作業するので当初は肩や首が痛かったけど今は大丈夫です！！
一流のなし農家目指して頑張ります！！

No.3 **武藤 春香** 農業の担い手　なし栽培

梨農家をめざして

私は小さいころから食べることや植物に触れることが好きでした。生まれた時からずっと茨城県に住んでいましたが興味のあった農業について学ぶため、青森県の大学に進学しました。

果樹に興味をもったきっかけは地域のりんご農家さんのお手伝いをした際に初めてりんごの花を見たことです。

とても綺麗でかわいらしい姿に感動しました。また、小さい実が日に日に大きくなっていく様子や、何年にも渡って管理されてきた樹の逞しさにも感動しました。

この感動を自分が生産者の立場となってほかの人に伝えられるようになりたいと考え、お客様に直接販売する直売形式で農業がしたいと思うようになり、地元であり農業が盛んで気候に恵まれている茨城県に戻ってきました。

学生生活を通じて農業はさざまな人に支えられていることを知り、地域のために貢献できる農家になりたいと思い地域おこし協力隊に募集しました。梨を選んだ理由は自分が好きな果物だからです。

青森県のベテラン農家さんから言われた印象的な言葉が２つあります。

気候などの条件が毎年違うことから「農家は何年やっていても一年生。」年に一度しか作れないことから「３０年続けても３０回しか作れない。」この言葉を聞き、少しでも長く農業に取り組みたいという気持ちになったので大学を卒業してすぐにチャレンジしています。

刈払機で作業している様子。
初めは刃が地面に当たってしまい上手く刈れませんでしたが、少しずつ慣れてきました。

１年目を終えて

昨年の５月から「庄司観光梨園」にて研修させていただいております。

摘果から始まり、収穫・販売、除草、落葉処理、剪定・誘引などさまざまな作業を実際に体験してみて改めて農業の大変さに驚きました。体格が小さい自分にとっては高いところでの作業や重い物の移動など体力的につらい仕事もありますが、道具や体の使い方を工夫して取り組んでいます。

販売シーズンはお客様から美味しかったよという感想をいただいてとても嬉しかったです。

先輩農家の皆さんの梨は本当に美味しいので私も美味しい梨が作れるようになりたいです。

おいしい梨をしっかりと作れる農家になって
皆さんに届けられるように頑張りたいです。

これからの夢にむかって

橋本大輝

拠点をコネクトツールとして、移住・定住のPRをしていきます！

残り少なくなってきた協力隊期間ですが、多くの市民や協力隊にも支えられたおかげで、卒業後も定住できそうです。最初は定住の自信はありませんでしたが、現在ではほぼ100％です！三味線や民謡などの教室や、子ども達を対象に和楽器体験会を開いて生徒さん達と市内各地のイベントで演奏するのが夢でもあります。

「コネークット」をご縁つなぎのコネクトツールとして活用しながら空き家バンク登録促進を含めた常陸太田市への移住・定住のためのPRが出来たらいいなと思います。ラストスパート！突っ走ります！

俵谷昂樹

独立に向けて心と身体を鍛え、美味しい梨をつくります！

今年は協力隊最後の年で、来年度には独立となります。昨年学んだ知識や技術、考え方のスキルアップはもちろん、任期終了後にどうやって独立をして収益をあげるかの具体的な計画づくりを最優先ですすめたいと思います。

一方今年の収穫期に忙しさから体調を崩してしまい、農家さんに迷惑をかけてしまったことがありました。独立となるとすべて1人で進めないといけないので体調を崩すわけにはいきません。改めて肉体面と精神面、両方を鍛えることが必要だと感じました。今年築いた成長と課題をふまえてより一層成長し、今後の独立を見据えて美味しい梨を作れるように頑張ります！

武藤春香

技術とマナー社会人としても一人前を目指します！

引き続き研修に励み、常陸太田市で梨の生産者になれるように頑張ります。先輩農家の皆さんのような美味しい梨を作れるように技術を習得していくことに加えて、社会人としてもまだまだ未熟なので社会人のマナーについても勉強していきたいです。受け入れ農家さんをはじめ、支えてくださっている多くの方への感謝の気持ちを常に持ち、これからも活動していきます。

常陸太田市 地域おこし協力隊 広報誌「おかげさま」
発行：令和５年３月
編集：常陸太田市 企画部 少子化・人口減少対策課
常陸太田市 地域おこし協力隊
〒313-8611　茨城県常陸太田市金井町3690
TEL　0294 - 72 - 3111（代表）